

日中友好新聞

大阪府連通信
2019年2月号

トランプが仕かけた

米中衝突の意味 山本 恒人

「貿易戦争」は

未曾有の規模

アメリカの貿易赤字約8000億ドルのうちの47%約3800億ドルが対中貿易赤字でした（2017年）。これが発端であり、トランプ政権はこの原因を、中国が技術や知的財産を「盗み」、さらに対外規制と国内措置によってアメリカ企業に中国への技術移転を強要しているとして、アメリカへせ措置を講じました。

2018年「第1弾」7月中国

トランプの狙いは
中国の「先進国への飛躍」潰し

これに中国は当然ながら報復措置に出ますが、その規模は、アメリカからの輸入品1500億ドルに対する500億ドルの一、アメリカ側の出方によつては追加措置で総計1100億ドル（その場合で全輸入品の73%）。

女性部では3月10日（日）午後2時から府連事務所で「中国茶を楽しむ会」をおこないます。どなたでもお気軽にご参加ください。参加費500円、定員15名、案内チケットにより様々なお茶文化を育んできました。その種類は数百種といわれます。



讲师の張 小清さんはお茶の本場の福建省出身で中国茶に詳しい方です。お茶の歴史、種類、産地、製法、効能などのお話はもとより茶器などにまつわる興味深いお話を聞かせていただきます。（浅田美奈子）

女性部 3月に中国茶を楽しむ会

女性部では3月10日（日）午後2時から府連事務所で「中国茶を楽しむ会」をおこないます。どなたでもお気軽にご参加ください。参加費500円、定員15名、案内チケットにより様々なお茶文化を育んできました。その種類は数百種といわれます。

申込みください。また、3月28日（木）午後2時から

ブックレット「どうする日中関係」を知らないでは済まない戦

後70年」を使って第3回学習会を行います。（浅田美奈子）

系のハイテク化を促進する）潰しかと言つて、金融世界でカジノのあるのです。

トランプ政権の「アメリカ・ファースト」は世界の覇者・リーダーとしての「アメリカ時代」の終焉を告げる思想であり、政策体系です。中国に仕かけた貿易戦争、中国経済の先端を走り、技術革新を基礎とする抜群の競争力を培ってきた民営IT企業「華為（ファーウェイ）」に対する常識外れの攻撃。

おまけに冷戦体制における東側一見、能無しに写るトランプ政

策体系は庶民の不安、不満、現状

も増え、対中貿易赤字幅も10%拡大という始末です（2018年7月の前年同期との対比）。

つまり、トランプの本当の狙い

これらは、かつて技術革新に支

えられたアメリカのすさまじい競

争力が委縮し、アメリカを象徴し

れたシナリオなのです。

（2面に続く）

春節のつどい

2月24日（日）12時
大阪中国帰国者センター
阪急千里線・柴島10分
阪急京都線・崇禪寺12分
会費：3000円
申込み〆切 2月16日

中国語講座4月開講

4月1日（月）～9月
6か月20回2時間授業
見学は随時、要申込み
無料入門レッスン
3月26、28、30日
府連205号教室

第6回中国百科検定

3月21日（祝）3時から50分
エル・おおさか6階 大会議室
初級、3級（ものしりコース）2級（中国通コース）1級（百科老師コース）特級（マスターコース 地理、政治経済、歴史、文化芸術・風俗習慣の4分野から選びます）締切2月21日
公式テキストと問題集は事務所にあります。

